

八つつあん「なんだ、そのジソクってえのは？」

# 落語で解説 物理入門

中高生に物理の面白さを知ってもらおうと、大分市の元物理教師・佐藤旭さん(89)が、落語仕立てのユニークな入門書「してやられた大家さん―落語で学ぶ物理入門―」(B5判、1400円)を出版した。大工の「八つつあん」の素朴な疑問を、物理好きの「大家さん」が分かりやすく解説する内容だ。(今泉遼)

落語仕立ての物理の入門書を出版した佐藤さん(大分市で)



## 大分の89歳元教師が出版

2人が世間話をしていたある日、車の時速60kmが話題に上った。  
八つつあん「なんだ、そのジソクってえのは？」  
大家さん「1時間に60kmの割合で走るといことだ」  
八つつあん「割合といこと？」  
大家さん「いまの速さで1時間走り続けると60km動きますよ、といことだ」  
八つつあん「そりゃダメだ。5分も走ればきつと番号引かかる」  
頼みの効いたやり取りが続き、八つつあんが憎まれ口をたたきつつも理解を深めていく。作用・反作用や万有引力、慣性の法則などが章ごとにまとめられており、章の末尾には練習問題もある。

(現・東京理科大)卒業後、35年間、高校で物理を教え、1980年に退職した。根っからの落語好きで、授業では生徒が退屈しないよう身近な物を例に挙げて教えていたという。90年には原作となる入門書を自費出版した。

今年1月、挿絵などを描く際に協力した妻のミチ子さんが亡くなったことから、息子の真理さん(62)らが「両親の思い出の本をきちんとした形で残したい」と出版社に売り込み、再出版された。高校の教諭からも「面白い」「授業に使いたい」と評判は上々だ。巻る前に1時間ほど方セットテープで落語を聞くのが日課という佐藤さんは「八つつあんのように日常の出来事に疑問を持って、物理を好きになる若者が増えてくれれば」と話す。全国の書店で購入できる。問い合わせは清風堂書店(06・63313・1339)へ。